

2025年11月27日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証プライム市場・名証プレミアム市場

奨学金融資制度の導入について

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎)は、若手社員が安心して仕事やキャリア形成に専念できる環境をさらに強化するため、2026年4月1日より「奨学金融資制度」を導入します。本制度は、若手社員の経済的負担を直接的に軽減し、成長や挑戦を後押しすることを目的としています。

近年、奨学金の利用者が増え、返済負担が若年層の生活設計やキャリア選択に影響を与えることが社会課題となっています。当社はこの課題に対して、若手社員が経済的不安を抱えずに仕事やスキル向上、長期のキャリア目標に集中できる環境づくりが重要と考え、本制度を導入します。若手社員を手厚く支えることで、社員一人ひとりの可能性を引き出し、組織としての持続的な成長にも繋げていきます。

<奨学金融資制度の概要>

対象者	2024 年以降入社かつ日本学生支援機構(JASSO)から奨学金を借りている新卒社員
融資内容	対象者が借りている奨学金相当額を無利子で融資
返済期間	返済開始まで最長 5 年の猶予あり

当社はこれまでも、育児休業取得奨励金(基本給等の年額の10%)や託児所費用補助、男女ともに100%取得を達成している育児休業制度など、ライフイベントと仕事を両立するための制度を整えてきました。さらに傷病や人間ドック、不妊治療のための休暇、法定基準を上回る介護休暇・休業、パートナーの海外勤務同行のための最長5年の休職制度など、多様なニーズに応える施策を展開しています。

このたびの奨学金融資制度は、これらの支援策と並んで、特にキャリアの早期段階にある社員を直接支援する新たな取り組みです。経済的な不安を和らげることで、若手が安心して挑戦できる風土を一層強化していきます。

当社は今後も、「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」というパーパスのもと、すべての社員が安心して力を発揮できる環境を整え、持続的な成長と社会的責任の遂行に努めていきます。

以上